

# 令和6年度 施政方針



栃 木 市



## 【はじめに】

令和6年第1回市議会定例会の開会に当たり、市政推進について所信の一端を申し述べますとともに、今定例会に提出いたしました一般会計予算案の大綱について、ご説明を申し上げます。

令和5年度を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症へと変更になるとともに、明治6年に栃木県が誕生してから150年を迎え、栃木県発祥の地でもある本市では、様々な記念イベントを開催し、市外からも多くのお客様をお迎えすることができました。

本市の各事業においては、新斎場「あじさいの杜」の供用開始や都賀西方スマートインターチェンジの開通、市立美術館開館記念展の開催、すくすく子育て応援事業、出産・子育て応援ギフト事業など、地域の活性化や子育て支援を推進し、これまで取り組んできたことが実を結ぶ形となった1年となりました。

また、物価高騰に伴う市民の皆様への支援対策として、「国の交付金」を活用しながら、子育て世帯及び低所得世帯への支援給付金等の支給をはじめ、学校給食物価高騰対策事業、キャッシュレス決済ポイント還元事業などの「生活者支援」や、民間の学童保育施設及び保育所への物価高騰支援などの「事業者支援」を実施いたしました。

一方、安全安心につながる浸水対策事業においては、県の事業とはなりますが、永野川の護岸改良復旧整備を継続して進め、巴波川については、地下捷水路整備に着手することができました。

令和6年度は、「第2次栃木市総合計画」が2年目となり、目標とする本市の将来像であります「豊かな自然と共生し 優しさと強さが調和した 活力あふれる栃木市」の実現に向け、市民の皆様や各種団体、市内の企業等と連携し、計画に掲げる各施策を推進してまいります。

特に、台風や集中豪雨による浸水被害の軽減を図るため、調節池等の整備を

行う雨水・浸水対策事業や田んぼダム整備事業などの防災対策、データセンター立地を視野に入れた新たな産業拠点整備を進める栃木インター西産業団地造成事業及び、定住人口の維持と企業立地を促進するため造成を行う平川土地区画整理事業など、本市経済の活性化や新たな雇用の創出を図るため、企業誘致を図ってまいります。

更に、子育て世帯の経済的負担の軽減と育児の悩み等の相談に応じ支援する、すくすく子育て応援事業や、妊娠期から出産後、子育て期にわたり切れ目ない支援を行う妊娠出産包括支援事業など、子育て支援に力を入れて進めてまいります。

脱炭素社会に向けた取り組みとしては、EV車の購入や照明のLED化など、引き続き温室効果ガスの排出実質ゼロに向けた取組を推進してまいります。

これらの各施策を進めていくとともに、持続可能な自治体運営を実現していくため、行財政改革に基づく財政健全化に取り組んでまいります。

### 【予算案の概要】

以上のような考え方にに基づき編成いたしました、令和6年度一般会計及び各会計予算案の総額についてご説明いたします。

まず、一般会計につきましては、3款民生費、4款衛生費、8款土木費及び10款教育費などが増額するなか、2款総務費、9款消防費及び12款公債費などが減額し、前年度と比較して0.1%減の740億9,000万円であります。

次に、特別会計の合計は、前年度と比較して0.5%減の372億1,133万5千円であります。

以上、一般会計と特別会計を合計した予算案の総額は、1,113億133万5千円であります。

次に、企業会計の支出総額であります。水道事業会計につきましては、前年度と比較して1.0%減の47億4,613万7千円であり、下水道事業会計につきましては、前年度と比較して9.0%増の74億3,991万2千円であります。

### 【主な施策の概要】

次に、令和6年度当初予算の主な事務事業について、第2次総合計画基本構想に定める6つの基本方針に沿って概要を申し上げます。

#### 《1 誰もが安全で安心して暮らせる栃木市》

第1は、「誰もが安全で安心して暮らせる栃木市」であります。

「定住促進支援事業費」につきましては、移住定住支援コーディネーターを配置し、相談体制と情報発信力を強化し移住相談交流イベント等を積極的に開催するとともに、とちぎで暮らそ！JU(イジユウ)支援補助金、結婚新生活支援補助金、通学者・通勤者支援補助金等を交付し、移住・定住者支援に取り組んでまいります。

次に、「ブロック塀等撤去改修促進事業費」につきましては、通学路に面する倒壊の危険のあるブロック塀の場所と件数を把握するとともに、危険なブロック塀等の撤去改修工事費の一部を補助することにより、ブロック塀等の倒壊による被害を防止し、安全で安心なまちづくりを推進してまいります。

次に、「雨水・浸水対策事業費」につきましては、台風や集中豪雨による河川の溢水や内水氾濫による浸水被害を軽減するため、令和6年度は、清水川第1・第2調節池の詳細設計、平井第3調節池の測量、平井第2及び東郷堀川調節池の整備工事を実施いたします。

次に、「消防庁舎整備事業費」につきましては、老朽化、狭あい化した消防本部・消防署の庁舎を整備するものであり、令和6年度は、訓練塔副塔等及び消

防本部車庫の新築工事、旧消防署庁舎の解体工事を実施いたします。

次に、「防災事業費」につきましては、自主防災組織の活動に伴う支援を拡充するほか、新たに防災士資格取得費への補助を行い、住民の防災意識の高揚と防災体制を強化してまいります。

次に、「公共下水道雨水渠整備事業費」につきましては、大雨時に発生する浸水被害を軽減するため、片柳 4 丁目地内の永野川左岸の雨水幹線、調整池及び強制排水ポンプを備えた排水樋門を整備するものであり、令和 6 年度は、調整池整備工事、調整池幹線ゲート整備工事等を実施いたします。

## 《 2 豊かな自然と共生する栃木市 》

第 2 は、「豊かな自然と共生する栃木市」であります。

「とちぎクリーンプラザ施設保守整備事業費」につきましては、施設を良好な管理の下で長期的に稼働させることに加え、二酸化炭素排出量削減対策と、安全かつ安定したごみ処理を継続していくため、引き続き、基幹的設備改良工事を実施いたします。

次に、「衛生センター施設整備事業費」につきましては、長期稼働により老朽化した栃木市衛生センターについて、今後も安全で安定した、し尿処理が行えるように、現在、佐野市へ一部委託している藤岡及び岩舟地域を含めた市内全域のし尿処理ができる施設の整備を行うもので、令和 6 年度は、測量や施設整備基本計画等を策定いたします。

次に、「有機農業産地づくり実施計画策定委託費」につきましては、国の「みどりの食料システム戦略」及び、県の「とちぎグリーン農業推進方針」に沿って、有機農業等の「環境にやさしい農業」を推進していくため、「(仮称) 栃木市有機農業産地づくり実施計画」を策定いたします。

### 《 3 一人ひとりが学び成長できる栃木市 》

第 3 は、「一人ひとりが学び成長できる栃木市」であります。

「生誕 150 年記念小平浪平顕彰事業費」につきましては、株式会社日立製作所の創業者であり、郷土の偉人・先人である小平浪平の生誕 150 年という節目の年であることから、小平浪平を顕彰するとともに、ものづくりへのこだわりや新規創業に向けての開拓者精神及び郷土への愛着と誇りを醸成するため、生誕地や関連施設を巡るバスツアー及び小学生向けの社会科資料集を作成いたします。

次に、「(仮称) 栃木東地域学校給食センター整備事業費」につきましては、狭あいでの老朽化が著しい、栃木第三小学校、大宮北小学校及び国府北小学校の 3 つの学校給食共同調理場を統合するもので、令和 6 年度は、実施設計業務及び下水道工事等を実施いたします。

次に、「美術館特別企画展等開催事業費」につきましては、市ゆかりの作家の作品を収蔵品展で紹介するとともに、企画展を開催し、国内外のすぐれた作家の作品を展示するもので、また、展覧会に関連した講演会やワークショップ等を開催し、来館者の増加を図ってまいります。

次に、「文化会館施設改修事業費」につきましては、文化会館利用者の安全の確保及び利便性の向上を図るため、老朽化した設備を計画的に改修するもので、令和 6 年度は、岩舟文化会館の中ホール改修工事等を実施いたします。

### 《 4 子育てに優しくいつまでも健康で生きがいのもてる栃木市 》

第 4 は、「子育てに優しくいつまでも健康で生きがいのもてる栃木市」であります。

「すくすく子育て応援事業費」につきましては、出生時と生後 4 か月時において、紙おむつやおしりふきを支給することにより、子育て世帯の経済的負担

の軽減を行うとともに、育児の悩み等の相談の機会を作り、子育て世帯を応援してまいります。

次に、「妊娠出産包括支援事業費」につきましては、妊産婦等の不安や負担軽減のため、妊娠期から出産後・子育て期にわたり、心身のケア、育児や家事のサポート等、切れ目ない支援を行い、安心して子育てができる支援体制の確保を図ります。

次に、「6歳児来院型フッ化物塗布事業費」につきましては、幼少期からのかかりつけ歯科医を持つことを推奨するとともに、永久歯の生える時期である年長児を対象に、フッ化物を塗布し、歯の質の強化と、虫歯予防への意識の高揚を図ります。

次に、「予防接種事業費」につきましては、新たに任意接種として带状疱疹ワクチン接種の助成を開始するとともに、小児インフルエンザについては、中学3年生まで助成対象を拡大し、制度の周知を図り、適切な接種を進めてまいります。また、国が進める予診票電子化の動きにあわせ、デジタル予診票に移行する取り組みを進めてまいります。

## 《5 地域資源を生かした賑わいと活力のある栃木市》

第5は、「地域資源を生かした賑わいと活力のある栃木市」であります。

「新規就農支援事業費」につきましては、農業者が不足するなか、持続的な力強い農業基盤を築くため、就農相談を通じた農業への人材の呼び込みや、就農に向けた準備・計画策定の支援、就農後の定着に向けた資金の支援、経営発展に向けた設備導入の支援などを行ってまいります。

次に、「とちぎ秋まつり負担金」につきましては、隔年で実施している「とちぎ秋まつり」を栃木商工会議所、栃木市観光協会、栃木市商店会連合会及びとちぎの山車祭り伝承会との共催により開催するもので、新型コロナウイルスの



5類移行後、初めての開催となることから、本市最大の祭りとして、皆様楽しんでいただけるよう準備を進め、盛大に開催いたします。

次に、「インター周辺開発事業費」につきましては、市内インターチェンジに近接する環境を活かした産業団地の造成を行うものであり、令和6年度は、市内全域を対象とした産業基盤成長戦略策定業務を行うとともに、栃木インター北地区において、市街化区域編入及び都市計画決定資料作成業務を、佐野藤岡インター周辺において、ポーリング調査業務を実施いたします。

次に、「栃木インター西産業団地造成事業費」につきましては、データセンター立地を視野に入れた新たな産業拠点の整備を進め、本市経済の活性化や新たな雇用の創出を図るものであり、令和6年度は、換地計画処分・区画整理登記等業務、区画道路及び公園整備工事等を実施いたします。

次に、「平川土地区画整理事業費」につきましては、主要地方道宇都宮亀和田栃木線沿いに位置する「平川地区」において、フードバレー構想の推進に向けた産業系の土地利用を図るため、土地区画整理事業を実施するものであり、令和6年度は、区画道路や水路等の造成工事及び建物の移転等を行ってまいります。

## 《6 参画と協働による持続可能な栃木市》

第6は、「参画と協働による持続可能な栃木市」であります。

「ふるさと応援寄附事業費」につきましては、「ふるさと納税」の寄附者に対し、市の特産品を返礼品とすることにより、市の魅力をPRするとともに、地域経済の活性化を図るものであります。

次に、「地域施設再編モデル総合支所複合化整備事業費（都賀）」につきましては、都賀地域の総合支所、公民館などの複数の公共施設を一つの建物に統合した「複合施設」を整備するものであり、令和6年度は、新築工事に加え、外

構工事、施設で利用する備品、EV車の購入を実施します。

### 【組織の見直し】

以上が主な事務事業の概要となりますが、引き続きまして、令和6年度に向けた組織見直しの概要について、ご説明いたします。

この度の見直しの目的は、令和3年度に大規模な組織改編を行ったことを踏まえ、現行組織の定着を図りつつ、新たな行政課題に対応するとともに、効率的に業務を遂行するため、室及び係の統廃合を進めるというものであります。

主な内容につきましては、すべての妊産婦、こども、子育て世帯への一体的な相談支援体制を整備するため、こども未来部に「こども家庭センター」を新設し、おやこはぐくみ係、こどものすだち応援係及び児童家庭相談係を設置いたします。

その他、室及び係を統廃合することにより、令和6年度の消防本部を除く組織数を、本年度当初と比較し、1課増、2室5係減の8部7局63課2室188係とし、効率化を進めることでより円滑な行政運営を行ってまいります。

以上が、令和6年度の組織見直しの概要となります。

## 【むすびに】

結びになります。令和6年度は、本市にとりまして、将来に向けて必要不可欠となる、雨水・浸水対策事業やとちぎクリーンプラザ施設保守整備事業等の大型事業を引き続き推進するとともに、産業団地の整備や子育て支援に更に取り組むため、昨年度に次ぐ大規模な予算を組むことになりました。

また、4月からは、組織の見直しで申し上げました、母子保健、児童福祉、発達支援を担う各担当を統合した、「こども家庭センター」を栃木保健福祉センターに開設いたします。同センターの開設により、全ての妊産婦や子育て世代を対象に、適時的確に情報の提供や相談支援を行い、ワンストップ相談体制と切れ目のない伴走型支援を行うとともに、新たに実施する6歳児来院型フッ化物塗布事業や予防接種事業の対象拡大を図るなど、本市の子育て支援のさらなる充実を図り、「こどもまんなか社会」の実現を目指してまいります。

令和6年度は、第2次総合計画の2年目を迎え、本市の将来像である「豊かな自然と共生し 優しさと強さが調和した 活力あふれる栃木市」の実現に向けて、子どもから大人まですべての世代が、笑顔あふれる心豊かな暮らしを実感できるまちづくりを進めるため、精一杯の努力をしてまいるとともに、本市の将来を見据え職員一丸となって、安全で安心して暮らせる、働く場所があり子育てしやすい、持続可能なまちづくりを目指して、取り組んでまいります。

以上、申し上げました思いを込め、令和6年度予算を『みんなが笑顔で暮らせる幸せづくり予算』と位置付けて市政運営を行ってまいりますので、何卒、市民の皆様と議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、施政方針といたします。